

【資料３－２】公共交通利用促進プロモーション業務について

【資料3-2】公共交通利用促進プロモーション業務について



宇都宮市
Utsunomiya City

R6年度末時点の取組結果

【概要、目的】

市民や企業等に対し、公共交通に対する意識啓発やイメージアップを図りながら、多様なライフスタイルの中での自発的な公共交通利用や行動変容を訴求するためのもの

- 公共交通のイメージアップ
- 公共交通を利用したいと思うきっかけづくり
- 公共交通の価値を自分ゴト化
- 移動手段を「クルマ、徒歩、公共交通」とする意識改革

▶ 公共交通利用促進パンフレット 「乗ろうよ!」「もっと乗ろうよ!」の作成



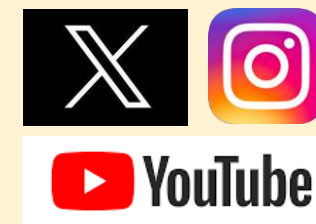
▶ 「もっと乗ろうよ! movie」の制作



▶ 公共交通PRブースの出展 (市内イベント)



▶ 各種広報PR ▶ SNSキャンペーン



▶ エコ通勤普及促進事業



▶ 高齢者向けパンフレット 「totraで乗ろうよ!」の作成



▶ 「乗ろうよ! フェア2024」の実施 ▶ 乗車・体験型「MISSION GAME」の実施



▶ デジタル広告の展開



▶ totraマニュアル の作成



▶ U字工事タイアップ交通動画制作

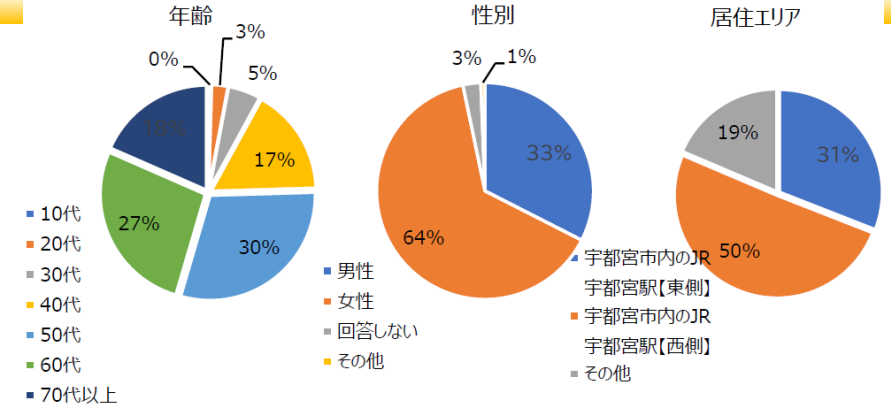


【資料3 - 2】 公共交通利用促進プロモーション業務について

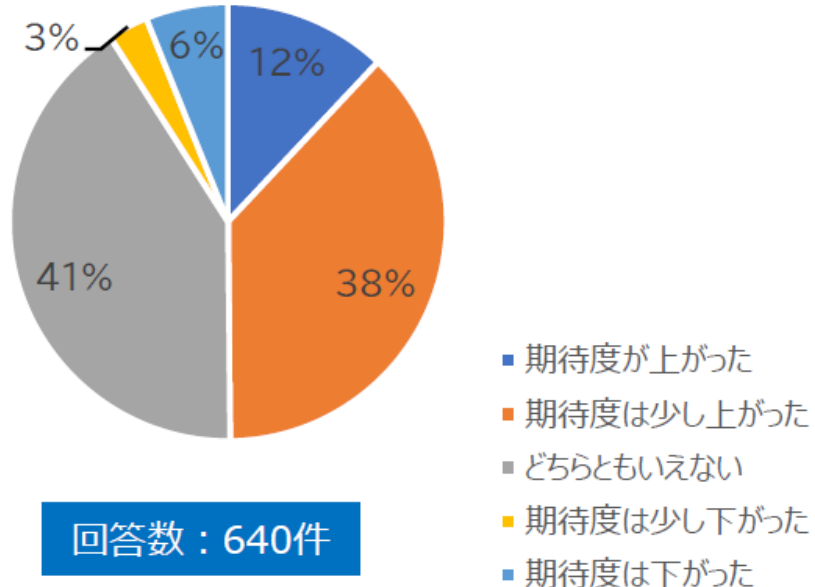
R6年度末時点の取組結果

【抜粋】 公共交通プロモーション業務内「事業効果検証アンケート」結果

- 実施手法 下野新聞社LINEアカウント「とちぽ」にてアンケート実施
- 対象者 ともだち登録者のうち宇都宮市在住の約1万人の中からランダム5,000人
- 実施期間 令和7年2月21日～3月3日
- 有効回答者数 640人

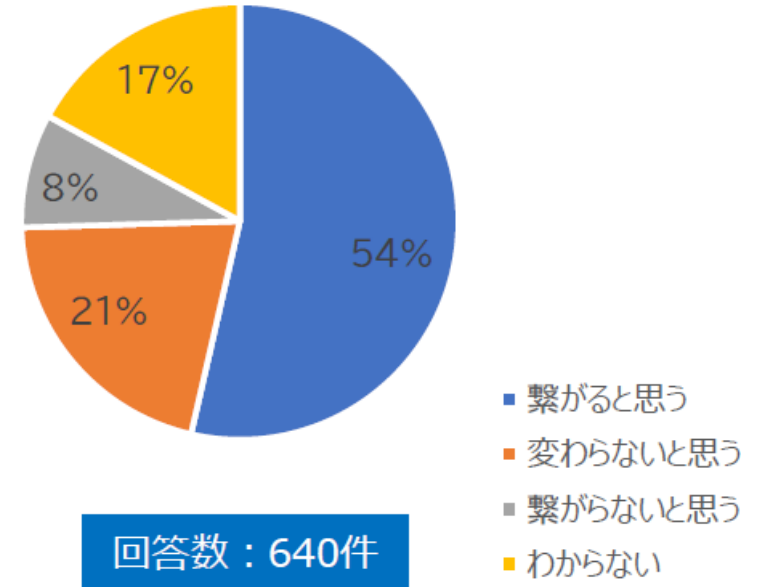


MOVE NEXT UTSUNOMIYA事業の取組などを通じて、宇都宮市の公共交通への期待度に変化はありましたか？



MNU等実施効果による本市公共交通の期待度は50%

「乗ろうよ！フェア」などのイベントや、YouTube U字工事チャンネルとのタイアップ動画、運賃負担軽減策などのMOVE NEXT UTSUNOMIYA事業の取組は、公共交通の利用促進に繋がると思いませんか？



MNUの取組が今後の利用促進に有効性があることの立証

【資料3－2】公共交通利用促進プロモーション業務について

R7年度の取組と進捗状況

◎ 事業実施に向けた基本的な考え方

～R6

R7～

「市域へのPR」を目的としたイベント出展

交通事業者と共同で「**体験型MM**」イベント展開

- ・ MNU事業有識者会議から得られた知見を、実施事業に反映させる
公共交通に触れるきっかけとなるバスを軸とした「体験型MM」を意識した企画 等

各ペルソナを狙った**全市的な**広報PR

これまで培った**ノウハウを活かした**
ターゲットを限定した広報PR

- ・ 令和6年度までに実施したプロモーション業務の効果分析を最大限活用する
令和4～6年度アンケート結果などを活かしたコンテンツ制作、モビリティハブ事業との連携 等

インセンティブで興味を促す面的なエコ通勤の推進

企業の自発的な取組を促すエコ通勤の推進

- ・ 事業費が大幅に削減されたことから、既存事業の在り方を見直すとともに、他事業との連携強化
エコ通勤優良事業所認証のインセンティブの廃止、沿線MMとの連携 等

有識者会議 意見

令和6年8月2日 第4回 MOVE NEXT UTSUNOMIYA 事業推進有識者会議

- 協議事項（R7年度以降のMNU事業の進め方について）

「子どもなどに対し、交通事業者の制服を着てもらい実際に車両に乗ってもらうような**体験型の施策は大変良く、（今後も）実施すべき。**」

【資料3-2】公共交通利用促進プロモーション業務について



宇都宮市
Utsunomiya City

R7年度の取組と進捗状況

名 称

(仮称)「バスフェスタ」×「乗ろうよ！フェア2025」

内容（案）

- ・ ミニLRT乗車体験（宇都宮工業高校）
- ・ エコ通勤ラッピングバス展示
- ・ 販売ブース（オリジナルグッズ、トミカ、廃品）
- ・ 各種ブース出展（関係課、交通事業者）
- ・ キッチンカー（飲食店 ※市内事業者優先）
- ・ LUUP安全講習会、LUUP（臨時）ポートの設置
- ・ ライトラインジオラマ展示
- ・ ライトラインとの連携
- ・ 車両展示（関東自動車各種バス）
- ・ 働くくるま展示
- ・ 縁日コーナー（的当て、スーパーボールすくい、輪投げ、ガチャ）
- ・ 乗車体験
- ・ ワンマン機器操作体験
- ・ 飲食ブース（スープカレー、10円パン） 等



▲【参考】乗ろうよ！フェア2024キービジュアル

R7年度の取組と進捗状況

項 目 名

学校MM（バスの乗り方教室）との連携

内 容

◎ 事業概要

公共交通の利用促進に加え，小学生のマイバス意識の醸成等を図るため，実際に市内を運行するバス車両を学校の駐車場や校庭に持ち込み，totraを利用しながら，バスの乗降体験や車内でのマナー説明，福祉体験（車椅子での乗降体験）を実施するもの（45分）

※ 小学2年生の生活科での活用を想定しているが，他学年の実施も可能

【講師】 バス事業者（関東自動車，JRバス関東），国土交通省栃木運輸支局

【効果検証】 乗り方教室の事前，事後にアンケート調査を実施

【実績】

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
実施校数	1 校	1 校	1 校	4 校	4 校	5 校	11 校	11 校
年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		合計
実施校数	6 校	1 校	6 校	10 校	6 校	4 校		71校

※ リピート校も多い現状

【これまでの取組と課題】

- ・ 運転手不足や繁忙期の関係で，短期間（冬季）のみの実施に限定されている
- ・ 校庭の広さや立地が原因で，路線バス持ち込みが難しく実施できない学校も存在する
- ・ 特別支援学校へ実施の打診を行っている



R7年度の取組と進捗状況



項目名

エコ通勤普及促進事業

内容

◎ 事業概要

主に市内の事業所に対して「エコ通勤優良事業所認証」の取得を促し、市としてさらなるエコ通勤の促進に寄与するもの

「エコ通勤優良事業所認証制度」

エコ通勤に関して高い意識を持ち、エコ通勤に関する取組みを積極的に推進している事業所を、認証・登録し、その取組みを国民に広く紹介する国土交通省が管轄する制度

※ 事務局：国土交通省大臣官房参事官（交通産業），公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

【R6実績】

・ 市内の16事業所が新たに「エコ通勤優良事業所認証」を取得（令和6年度末 市内全91社）

・ インセンティブとして、以下のように実施

R6内容
・ EVバスフルラッピング（令和7年3月1日～令和8年2月28日） ・ 車内（天井・運賃箱・座席背もたれ裏面・中ドア上部等）ラッピング
totra（企業配付用）
デジタルサイネージ（JR駅）

【課題】

最小限の費用で、効果的な事業展開を行う必要がある

【令和7年度の対応】

・ モビリティ・マネジメント事業内の「企業MM」において働きかけを実施する沿線の企業等に対し、認証の新規取得の打診を行いつつ、既取得企業の取組例を紹介しながら、インセンティブによらない事業の横展開を図っていく

・ 既存事業（モビリティハブ事業等）とも連携しつつ、関連企業に打診予定

はじめよう、
「エコ通勤」